

## 題材名「台風と気象情報」

### 目標

- ・ 気象情報を活用して、台風時の天気の変化を予想することができる。
- ・ 台風時の天気の変化や台風と降雨などとの関係がわかる。

### コンピュータを活用する利点

- ・ インターネットを活用してリアルタイムで情報を見ることができるので、児童の興味・関心を喚起することができる。
- ・ 動画で雲の動きを見ることで台風の発生する様子や、台風の動きを実感することができる。

### 授業の流れ

#### 導入

- ・ めあての確認

台風はどこで発生してどのように進むのだろうか。

#### 展開

- ・ 台風の画像、動画等の資料を見る。

- ・ 資料を見て、見つけたこと・気付いたことをノートにまとめる。

- ・ 台風の動きについて分かったことを発表する

#### まとめ

- ・ 台風の発生、動き方、天気の変化についてまとめる。

### ICT活用場面

台風が通過した後にインターネットの気象情報を利用して、台風が近づいてくるときの動き方を調べた。雲の動きは、アニメーションを使って調べ、児童は何度もくり返し見ていた。また、台風が近づいたときの雨量をアメダスのデータを使って調べた。

台風の動きについて、デジタルコンテンツ(気象情報・デジタル台風の雲画像動画アーカイブ)をプロジェクターでスクリーンに投影しながら分かったことを発表し合った。

児童の発表をもとに台風が南の太平洋上で発生して北上することなどをまとめた。そして、最後に2004年の台風23号の動きを動画で見たり、被害の写真を見て台風による災害や台風に対する備えについて話し合った。



### 活用したコンテンツ

教育用画像素材集サイト <http://www2.edu.ipa.go.jp/gz>

日本気象協会 <http://www.jwa.or.jp/>

デジタル台風 <http://agora.ex.nii.ac.jp/digital-typhoon/news/2004/TC0423/>

Yahoo!天気情報 <http://weather.yahoo.co.jp/weather/>

### 成果と課題

台風が通過した直後であったため、情報が身近で児童も興味・関心を持って調べることができた。雲画像をアニメーションで見ることによって台風の動きや、それに伴う天気の変化を児童が理解しやすかった。

### ICT活用環境等

使用周辺機器	パソコン24台 ノートパソコン1台 プロジェクター
使用ソフト名	Internet Explorer
使用教室	コンピュータ教室